

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2012年1月10日

発行者ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

No 289

1部100円

沖データに直接雇用を求める！

誰でもが安心して働ける社会を！12・17集会に100名参加



沖電気のプリンター事業会社・沖データで8年5ヶ月もの期間働いていたTさんが、契約解除(解雇)され3ヶ月になる12月17日、高崎市内(群馬県)で集会が開催されました。地元高崎をはじめ、東京・八王子からも駆けつけ28団体100名の参加で熱気あふれる集会となりました。

米田電機・情報ユニオン中央執行委員長は「直接雇用を求めて立ち上がった労働者を、労使の交渉で解決をさせるため全力で頑張りたい」と主催者を代表して挨拶しました。

連帯挨拶の真砂群馬県会議議長は「この闘いを社会的に批判し、断罪する運動として共闘関係を大事に、群馬県労働会議の闘いとして広げて行きたい」と力強い挨拶。講演は「格差社会の是正を！労働者派遣法をめぐる情勢」を吉野弁護士が行いました。

中山電機・情報ユニオン関東地本執行委員から「闘いの経過報告」が行われた後、Tさん本人から「8年5ヶ月もの長い間、正社員のやる仕事を任せられ、早朝4時に出社し仕事の準備、昼食も惜しんでやり続けたこともある。タイムカードを押してから又、残業をやったり、月100時間を超す仕事に体を壊したこともある。それでも誇りとやりがいを感じてやってきた。それがいとも簡単に契約解除の名で放り出されることに、心から怒りを感じた。希薄な人間関係の中で生きてきたが、支えてくれる皆さんに出会って世の中捨てたもんじゃなかった。自分の人生を掛けた、沖データに戻って働きたいので引き続きご支援をお願いします」と訴えると、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

最後に集会決議が採択され、この集会決議を持って、12月19日に沖データと群馬労働局へ要請行動が行われました。

今月号の紙面

- ①沖データに直接雇用を求める集会
- ②春闘アンケート結果のポイント
- ③12春闘をめぐる情勢について
- ④電機連合のTPP推進の理論
- ⑤NEC社宅への楽しい訪問活動
日立懇の取り組み報告
- ⑥私の自慢「木版画」石橋さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧金属労働者春闘集会、旗びらき
12春闘「電機のつどい」、集積回路